

3 研究所合同シンポジウム



関西から世界へ 大阪・関西の日本における立ち位置

関西大学はその名の通り、関西の地に根ざして130年の歴史を刻んできた。その間、関西は経済の、あるいは大阪を中心とした上方の流れをひく独自の文化の拠点として、日本のなかで大きな存在でありつづけてきた。しかし21世紀を迎えた現在、「関西の地盤沈下」「経済の東京への一極集中」などの言葉のもと、日本のなかでの関西・大阪の立ち位置に揺らぎが感じられる。この不安を乗り越え、もとより開放的な風土を誇ってきた関西・大阪は、世界に向けた日本の姿をかたちづくるうえでこれからの役割を果たすべきなのか？ 関西大学創立130周年を迎えるにあたり、東西学術研究所、経済・政治研究所、法学研究所の学際的な協力によって、科学技術・政治・文化・社会の各方面の第一人者を招いて語りあう一日としたい。



プログラム

司会 高瀬武典 (経済・政治研究所長、社会学部教授)

13:20~13:30 開会挨拶 吉田栄司 (関西大学副学長)

基調講演

13:30~14:30

「関西の世界一〜スーパーコンピュータ「京」とはなにもの？」

井上 愛一郎 (理化学研究所 計算科学研究機構 統括役)

1980年東京大学工学部卒業。計算機科学者、技術者。富士通常務理事、富士通フェローを経て、現職に至る。京 (スーパーコンピュータ)の開発責任者として知られる。「ハイエンドコンピュータを実現する高性能・高信頼CPU技術の開発」の業績により、2013年春の紫綬褒章を受章。



講演

14:40~15:20

「世界都市・大阪の可能性 — 大阪都 (大阪市廃止) 構想を超えて」

村上 弘 (立命館大学法学部教授)

15:20~16:00

「大阪における自娛の精神〜文人意識の再評価をもとに〜」

明尾圭造 (大阪商業大学准教授兼首席学芸員)

16:00~16:40

「近代関西の都市社会〜国際性・先進性の再評価」

永井良和 (関西大学社会学部教授)

16:50~18:00 総合討論

18:00~18:05 閉会挨拶 岡本哲和 (法学研究所長、政策創造学部教授)

5 / 2 0 (金)

13 : 2 0 - 1 8 : 0 5

関西大学千里山キャンパス
尚文館 1階
マルチメディアAV大教室



入場無料・申込不要

お問い合わせ先

関西大学

研究所事務グループ

〒564-8680吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-1179

FAX:06-6339-7721

E-mail : keiseiken@ml.kandai.jp

